

BEST AVAILABLE COPY**PATENT ABSTRACTS OF JAPAN**

(11)Publication number : 01-139522

(43)Date of publication of application : 01.06.1989

(51)Int.CI.

A61K 7/06
A61K 7/08
C08L 83/04

(21)Application number : 62-297121

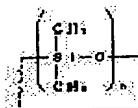
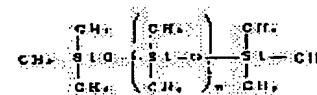
(71)Applicant : SUNSTAR INC

(22)Date of filing : 24.11.1987

(72)Inventor : NOGAWA YASUHIRO
NISHIMURA HIROSHI**(54) HAIR TREATING AGENT****(57)Abstract:**

PURPOSE: To obtain a hair-treating agent which give hair excellent smoothness and gloss and protects hair from the heat of the drier and brushing, by using dimethylsilicone gum, silicone oil, volatile silicone oil at a specific ratio.

CONSTITUTION: The subject hair-treating agent is composed of (A) a dimethylsilicone gum of formula I (R_1, R_2 are methyl, hydroxyl; n is 4,000W9,000), (B) a silicone oil of formula II (n is 30W300), and (C) a volatile silicone oil of formula III (n is 3W7) where the weight ratio of B/A is 1/3W3/1, preferably 1/2W2/1. The subject treating agent is preferably made an anhydrous system from the view point of stability. For example, component A is Toshiba Silicone TSE-200(R); component B, Toshiba Silicone TSF 451-50(R), and component C, octamethylcyclotetrasiloxane.

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑪ 公開特許公報 (A)

平1-139522

⑫ Int.Cl.¹

A 61 K 7/06
7/08
C 08 L 83/04

識別記号

L R Z

厅内整理番号

7430-4C
7430-4C
6609-4J

⑬ 公開 平成1年(1989)6月1日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑭ 発明の名称 毛髪処理剤

⑮ 特願 昭62-297121

⑯ 出願 昭62(1987)11月24日

⑰ 発明者 野河 泰博 大阪府高槻市殿町13-10-107

⑱ 発明者 西村 博 京都府京都市左京区下鴨下川原町40番地

⑲ 出願人 サンスター株式会社 大阪府高槻市朝日町3番1号

⑳ 代理人 弁理士 森岡 博

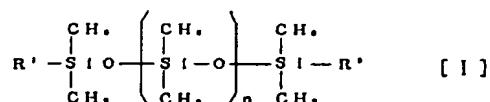
明細書

1. 発明の名称

毛髪処理剤

2. 特許請求の範囲

(1) (a) 下式 :

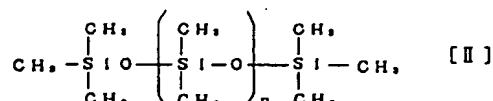


[式中、R'、R''はメチル基または水酸基；nは

4000～9000の整数を意味する]

で示されるジメチルシリコーンガム、

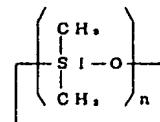
(b) 下式 [II]



[式中、nは30～300の整数を意味する]

で示されるシリコーン油、および

(c) 下式 [III]



[III]

[式中、nは3～7の整数を意味する]

で示される抑発性シリコーン油からなり、かつ

[I]と[II]との重量配合比 [II]/[I]が
1/3～3/1であることを特徴とする毛髪処理

剤。

(2) 非水系である前記第(1)項の毛髪処理剤。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は毛髪に対し優れたすべり感および光沢
を付与し、またドライヤー等の熱やブラッシング
などから毛髪を保護する毛髪処理剤に関する。

従来の技術およびその問題点

従来より、髪につやと弾力を与え、あるいは傷
んだ髪の手入れを行うため、ヘアートリートメン
ト、ヘアリングなど様々な毛髪処理剤が用いられ

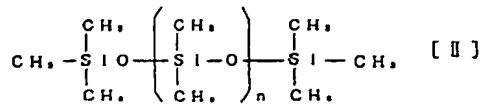
ている。例えば、毛髪に光沢やなめらかさを与えるためには、シリコーン油、高級アルコール、流動パラフィン、エステル油などの油分を配合したものが用いられている。また、毛髪に柔軟性や滑電防止効果を与えるためには、カチオン性界面活性剤やカチオニ性高分子化合物を配合したもののが用いられている。さらに、ドライナーの熱などから毛髪を保護するためには水溶性高分子化合物を配合したものなどもある。

しかしながら、前記の油分を配合した毛髪処理剤はベタツキなど、毛髪に適用した場合に違和感を与える欠点があり、またそれ自体粘着性を有しているためクシ通りやブラッシングに対する物理的抵抗値も大きくなる。また、カチオニ性界面活性剤、カチオニ性高分子化合物を配合した毛髪処理剤は毛髪表面の負に帯電した部分にのみ電気的に吸着するものであって吸着力が不充分で、均一性にも劣り、またクシ通り性も良好ではない。さらに水溶性高分子を配合した毛髪処理剤はそれ自体の粘着性、接着性が大きく処理後の毛髪がゴワ

4000~9000の整数を意味する]

式〔I〕のジメチルシリコーンガムの代表的なものとしては、例えば東芝シリコーンTSE-200、TSE-200A(東芝シリコーン(株)製)などが挙げられ、それらの1種または2種以上を処理剤全量に対して1~20重量%、好ましくは5~15重量%配合する。配合量がこれより少ないと、毛髪へのクシ通り性、およびなめらかな感触が充分ではない。一方、この範囲を超えるとジメチルシリコーンガム自体の粘性が強くなり使用感が低下する。

また、本発明毛髪処理剤の他の配合成分であるシリコーン油は下記の構造式〔II〕で示される。



[式中、nは30~300の整数を意味する]

式〔II〕のシリコーン油の代表的なものとしては、例えば東芝シリコーン(株)製TSE-451-50、

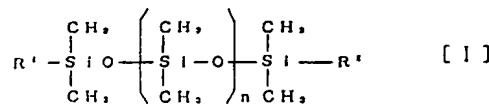
ゴワとして違和感があり、クシ通り性が悪いなどの欠点を有する。

本発明は、毛髪に対して優れたすべり感および光沢を付与し、またドライヤー等の熱やブラッシングから髪を保護する毛髪処理剤を得ることを目的とする。

問題点を解決するための手段

すなわち、本発明は後記の式〔I〕で示されるジメチルシリコーンガム、後記の式〔II〕で示されるシリコーン油、および後記式〔III〕で表される揮発性シリコーン油からなり、かつ〔I〕および〔II〕の重量配合比〔II〕/〔I〕が1/3~3/1であることを特徴とする毛髪処理剤を提供するものである。

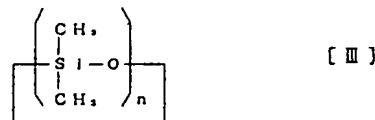
本発明の毛髪処理剤に配合されるジメチルシリコーンガムは、下記の構造式〔I〕で示される。



[式中、R'、R'はメチル基または水酸基；nは

TSE-451-300、東レシリコーン(株)製SH-200-100CS、SH-200-500CS、信越シリコーン(株)製KF-96-100、KF-96-1000などが挙げられる。

さらに、本発明にて用いられる揮発性シリコーン油は下記の構造式〔III〕で示される。



[式中、nは3~7の整数を意味する]

かかる式〔III〕の揮発性シリコーン油の代表的なものとしては、例えば、オクタメチルシクロヘキサシロキサン、デカメチルシクロヘキサシロキサン、ヘキサメチルシクロトリシロキサン、ドデカメチルシクロヘキサシロキサンなどが挙げられる。

これら式〔I〕のジメチルシリコーンガムと式〔II〕のシリコーン油の配合重量比〔II〕/〔I〕は1/3~3/1、好ましくは1/2~2/1である。かかる配合比が1/3未満であると、毛髪

特開平1-139522(3)

のすべり感および光沢が充分でない。一方、3／1を越えると、すべり感が充分でなく、ベタツキが強く、使用感を損なう。

本発明の毛髪処理剤は水系又は非水系とすることができるが、剤型安定性の面から非水系にすることが望ましい。

本発明の毛髪処理剤は公知の方法により、ヘアミルク、ブロー剤、ヘアートリートメント、ヘアリンス、トリートメントスプレイ、トリートメントパック等の形態に製造される。

本発明の毛髪処理剤には、その性能を損なわない範囲でさらに油成分（流動パラフィン、トリグリセライド、エステル油、ワックス類等）、着色料、香料、界面活性剤などを配合することができる。

実施例

つぎに本発明を実施例に基づきさらに具体的に説明する。なお、実施例、比較例中の配合量は重量%で示した。

実施例1～5および比較例1～5

後記第1表に示す組成にて常法にてジメチルシリコーンガムおよびシリコーン等を混合した後、搅拌してヘアートリートメントを得た。これらを用いてつぎの項目について評価した。結果を第1表に合わせ示す。

(評価方法)

試験サンプルの評価はつぎの方法で行なった。いずれも専門パネラー10名の実使用による官能評価を行った。使用時のベタツキ、乾燥後のすべり感、しっとり感、乾燥後の光沢について下記評価基準にしたがって評価し、各得点の合計を求めた。

(使用時のべたつき)

べたつきがない : 1

ややべたつきがある : 0

べたつきがある : -1

(乾燥後のすべり感、しっとり感)

使用前と比較して良好 : 2

" やや良好 : 1

" 差がない : 0

(乾燥後のつや)

使用前と比較して良好 : 2

" やや良好 : 1

" 差がない : 0

第 1 表

成 分	配 合 量 (重 量 %)							
	実 施 例				比 较 例			
	1	2	3	4	1	2	3	4
ジメチルシリコーンガム(式(I)、R ₁ 、R ₂ :CH ₃)	1.0	-	5	-	-	-	-	-
" (式(I)、R ₁ 、R ₂ :OH)	-	1.3	-	3	-	1.3	1.3	1.3
シリコーン油(式(II)、n=50)	1.0	-	-	6	1.0	-	-	-
" (式(II)、n=150)	-	7	5	-	-	2	5.0	8.7
揮発性シリコーン油(式(I)、n=4)	8.0	-	9.0	-	9.0	-	-	-
揮発性シリコーン油(式(II)、n=5)	-	8.0	-	9.1	-	8.5	3.7	-
結 使用時ベとつき	9	8	1.0	1.0	-6	-7	-9	-10
乾燥後のすべり、しっとり感	1.8	2.0	2.0	1.8	1	5	3	2
果 乾燥後のつや	2.0	1.9	1.7	1.9	6	1	4	3

実施例5(乳液タイプ)

成 分	配合量
(成分A)	
プロピレングリコール	1.8
P O E(5)オレイルエーテル	2.5
ジメチルシリコーンガム(T S E 200)	6.0
シリコーン油(式(II)、n=60)	6.0
揮発性シリコーン(式(III)、n=5)	15.0
(成分B)	
カーボボール941	0.3
水	残量
(成分C)	
トリエタノールアミン	0.3
水	2.7
(成分D)	
香料	0.1

成分Dを混合して80℃に保った。別に成分Aを混合して70℃に保持し、前記成分Bに加え、搅拌して均一化した後、冷却しながら成分Cおよ

び成分Dを加えてヘアミルクを製造した。

成 分	配合量
(成分A)	
プロピレングリコール	2.0
ツイーン80	1.0
ジメチルシリコーンガム(T S E 200A)	1.5
シリコーン油(式(II)、n=40)	2.0
揮発性シリコーン(式(III)、n=3)	8.0
(成分B)	
水	残量
(成分C)	
9.5%エタノール	2.0
(成分D)	
香料	0.1

60℃に加熱した成分A中に同じく60℃に加熱した成分Bを加え搅拌混合した。ついで、冷却しながら成分CおよびDを加えた。

実施例7(リンス)

成分	配合量
(成分A)	
塩化ステアリル トリメチルアンモニウム	2.0
ジメチルシリコーンガム(TSE200A)	5.0
シリコーン油(式[Ⅱ]、n=40)	2.5
揮発性シリコーン(式[Ⅲ]、n=4)	8.0
自己乳化型 モノステアリン酸グリセリド	1.0
エチレングリコール モノステアレート	1.0
(成分B)	
グリセリン	2.0
防腐剤	微量
色素	・
水	残量
(成分C)	
香料	

成分Bを混合して75℃に保ち、これに別個に成分Aを混合して75℃に保ったものを加えた。

(成分C)

香料	微量
----	----

成分Bを混合して75℃に保ち、これに別個に成分Aを混合して75℃に保ったものを加えた。搅拌し冷却しながら成分Cを添加してヘアートリートメントを製造した。

実施例8(ヘアトリートメント)

成 分	配合量
ジメチルシリコーンガム(TSE200)	15.0
シリコーン油(式[Ⅱ]、n=150)	35.0
揮発性シリコーン(式[Ⅲ]、n=4)	残量
香 料	微 量
色 素	微 量

上記成分を搅拌して均一化し、非水系ヘアートリートメントを製造した。

発明の効果

本発明の毛髪処理剤は、毛髪に対して優れたすべり感および光沢を付与し、熱やブラッシングな

搅拌し冷却しながら成分Cを添加してリンスを製造した。

実施例8(ヘアトリートメント)

成 分	配合量
(成分A)	
塩化ジメチルベンジルアンモニウム	3.0
ジメチルシリコーンガム(TSE200)	8.0
シリコーン油(式[Ⅱ]、n=250)	10.0
揮発性シリコーン(式[Ⅲ]、n=6)	10.0
ラノリン	1.0
スクワラン	2.0
自己乳化型 モノステアリン酸グリセリン	3.0
エチレングリコール モノステアレート	5.0
セチルアルコール	0.5
(成分B)	
ヒアルロン酸ナトリウム	0.001
防腐剤	微量
水	残量

どから髪を保護する。

特許出願人 サンスター株式会社

代理人 弁理士 森岡 博